

3 ICTを活用した地域・産業の活性化

地域課題解決のためのICTを活用した取組の支援や、地域の特性に応じた新たな産業・サービス等の創出を支援することにより、県民がいきいきと暮らせる元気な社会の実現を目指します。

(1) ぐんまの魅力発信といきいき地域づくり

【現状と課題】

近年、アジア圏をはじめとして外国人観光客が増加しており、海外に向けたぐんまのイメージアップの取組を充実させる必要があります。観光客が気軽に利用できる通信環境の提供により情報発信手段の多様化が進むことが期待されています。また、交流人口の増加にむけて、展示会や国際会議等の誘致などの情報発信の取組を進めることも重要になっています。

一方で、地方への移住志向が高まっており、県内に人を呼び込むための情報発信を進めてきたところです。近年ではSNSが広く普及し、情報の共有が容易になったことから、豊かな自然や交通の便の良さ、自然災害の少なさなどのぐんまの魅力を伝えるための情報を発信する取組をますます充実させていく必要があります。

【施策の方向性】

■ 観光誘客の促進・地域振興のためのぐんまの魅力発信

外国人観光客に向けた観光資源や歴史文化遺産を紹介するコンテンツを充実させます。観光客が利用しやすいネットワークの整備と情報を共有しやすい環境の提供を推進します。インターネットを通じてコンベンション誘致に向けた情報発信に取り組みます。

インターネットを通じて地域の魅力を発信し、人を呼び込むことで活力ある地域づくりを進める市町村の取組を支援します。

【主な取組】

 世界遺産・日本遺産・ぐんま絹遺産の周遊観光ができる多言語による情報提供により、県内の複数の施設が一体となった文化財の周知広報を推進し、滞在期間の長期化や周遊観光の普及を図るとともに、ホームページの多言語化を支援することによって、外国人観光客の誘致・集客を促進します。[世界遺産等周遊アプリ制作、ホームページ多言語化]

観光客や外国人が、訪れた地域の魅力をSNSで手軽に情報共有・発信できるようにWi-Fi環境の整備を進めます。[ぐんまWi-Fiプロジェクト]

県内外のコンベンション主催者等に向けて、県内のコンベンション施設や開催支援情報、本県の魅力等の情報発信をすることで、全県的なコンベンション誘致につなげ、地域経済の活性化を目指します。[「群馬県コンベンション情報」の作成・運営]

市町村が地域の魅力を再確認し、映像作品や地域の観光資源を紹介するアプリなどを作成し、インターネット上で配信するなどにより広く情報発信することで、観光誘客や移住の促進につなげる取組を支援します。[いきいき・地域・つながり I C T 支援]

【指標】

項目	現状(H28年度)	目標(H31年度)
SNSを活用している県内市町村数	25市町村	35市町村

(2) 未来を拓くぐんまの産業支援

【現状と課題】

「ものづくり立県」である本県は、経済全体に対し、輸送機器や食料品、電気機器などの製造業の占める割合が全国に比べて高くなっています。製造業を巡っては、生産性の向上や品質管理の高度化の要請が高まる中で、情報通信技術の発達による I o T を活用した技術革新が着々と進められています。しかし、中小企業においては、I o T 導入のために必要な人員、知識・ノウハウが不足しており、個々の企業だけでは十分な対応が困難な状況です。農業では、本県の主要な施設野菜について、安定して収量を増加させるため、環境制御技術の開発に取り組んでいます。この技術を生産者が導入し、施設野菜の生産性を向上させるには、「いつでも」「どこからでも」遠隔制御できる技術に発展させる必要があります。林業では、森林資源情報、木材の供給・需要情報を集積し、需要に見合った木材の供給を安定的に行っていく必要があります。

企業にとって I C T は、業務の効率化はもとより、電子商取引の導入等経営革新においても欠くことのできないツールとなっています。しかし、多くの中小企業では、情報化の必要性を感じつつも、人材の不足などにより、I C T 活用の知識が不足しています。

【施策の方向性】

■ I o T 導入支援・I C T を活用した生産性向上

製造業では、個々の企業だけでは十分な対応が困難な中小企業に対し、I o T の導入を支援する取組を行い、生産性を向上させるとともに品質管理の高度

化につなげます。また、農業では、作物収穫量の増加や品質を向上させるための、環境制御技術の高度化を目指します。林業では、需要情報に基づいた木材の安定供給体制を構築するため、スマート林業の実現を目指します。

■ 中小企業における情報化の支援

産業全般では、情報サービス業者が中小企業向けに実施する情報化振興事業を支援する取組を行い、中小企業の情報化を推進していきます。

【主な取組】

✚ 中小企業が I o T 技術を導入するための支援を目的とした研究会を運営します。また、研究会を通じて中小企業に対して技術的な指導や人材の育成を行い、中小企業への I o T 技術の普及を図ります。 [I o T 導入支援]

✚ I o T に関して、中小企業の支援を行うための知見及び技術を蓄積するために、ネットワークが簡易に構築できる無線を利用し、様々なセンサからデータを取得・保存する方法についての基礎的な研究を行います。 [次世代産業創出研究]

✚ 単位面積あたりのキュウリやイチゴの収量を増やすため、環境制御技術の高度化に取り組めます。 [園芸作物研究における環境制御技術の高度化]

✚ ぐんま森林 G I S や I C T を活用し「森林資源の見える化」と顧客ニーズに適合した木材の安定供給体制の構築についての実証に取り組めます。 [スマート林業実証]

✚ 県内の情報サービス業者で組織される団体が実施する情報化振興事業に対し、経費の一部を補助し、県内情報サービス業の振興及び県内中小企業者の情報化を推進します。 [産業情報化振興事業費補助]

【指標】

項目	現状(H28年度)	目標(H31年度)
IoT 支援実施企業数	—	60 社

<トピックス I o T>

I o Tの意義

I o T (Internet of Things) は、新たな付加価値を生み出すことにつながるため、注目を集めています。例えば、製造業では、生産ラインにおける個別の製造条件や製造機器のログデータなど、これまで活用しきれなかったデータを、I o Tを通じて収集し、分析することで、生産性や品質の向上につなげることができます。

本県の取組

[I o T導入支援事業]

- ✚ 本県では、中小企業や農業分野へI o T導入を支援するための研究会を立ち上げ、公設試験研究機関、大学、民間企業等で連携し、技術研究や人材育成等を実施します。

[研究会の目的]

個別の中小企業や事業者では対応が困難なI o T技術の導入を産学官が連携してサポートし、技術の高度化や生産性の向上などを図ることで、事業拡大と新たな雇用につなげ、地域経済の活力向上に寄与する。

研究会活動

研究開発

- IoTプラットフォーム外の発掘
- 共同研究、実証事業

情報提供

- 最新情報セミナー
- 成果発表会

人材育成等

- 技術研修・セミナー
- 企業への専門家派遣

[研究会の構成]

- 製造業
- 農業
- 情報通信産業
- 大学等高等教育機関
- 産業支援機関
- 公設試験研究機関

[分野別研究会活動]

製造現場

- 生産ラインのデータから現状を把握・分析し、ものづくり企業の管理業務の効率化、品質を向上

設備データの収集と分析

異常発生
の予測



園芸ハウス

- いつでも、どこからでもコントロールが可能となり、省力化で作物収穫量の増加、品質を向上

温湿度、CO2濃度
などの環境制御

遠隔監視・
制御

